

新発田市 令和3年度 第10回定例記者会見

1 日 時 令和4年1月6日(木)午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 新潟ふるさとCM大賞で準グランプリを受賞
- 第18回城下町しばた雑煮合戦の開催&スカイランタンの打上げ
- 災害凶上訓練DIG(風水害版)の実施
- 学校給食に新発田牛を提供
- 蔵春閣移築事業説明会の開催

【その他】

- 小・中学生のための「家藤正人 句会ライブ」開催
- 終活セミナーの開催
- 遠藤麻理さんの講演会開催
- 新発田市マンホールカード第3弾配布
- 新発田で旧正月を祝おう

あいさつ

- 新年あけましておめでとうございます。今年も新発田を記事に採り上げていただき、大いに新発田をPRしていただきたいと思います。
- 去年の暮、寒波が来るとの予報がありましたので身構え、除雪費で5億円の専決をして用意をしておりましたが、昨年の大変な大雪に比べれば、平年並の雪という状況です。
- コロナも日本全体としてはオミクロン株が非常に心配な状況が続いておりますが、当市のこのお正月は落ち着いた状況でした。市民の皆様は家族、あるいは大切な方と穏やかな新年を迎えられたのではないかと思います。穏やかな日々、何気ない日常が続き、今年こそ良い年にしたいという思いです。今年こそマスクからの解放を手にしたい、ポストコロナ、ウィズコロナが掛け声だけではなく、現実のものになってほしいと願っています。
- 今年の一文字を、「時を刻む。歴史を刻む。」の「刻む」としました。ポストコロナ、これはこれまでにない価値観や新しい生活様式、新ビジネスモデルなどの新しい時代の到来となるので、その歴史の一步を刻むという意味を込めています。そういう年にしたいと、私も含め職員一同、頑張っていくしますので、ご支援をいただきたいと思います。
- 年明け早々、大きな仕事として、国の16ヶ月予算に対応する補正予算の編成があります。国からの臨時交付金を、しっかりとコロナ対策に活用いたします。当市のこれまでの取組のキーワードは三つあります。まずは産業です。ホテル宿泊、観光、飲食、この辺が一番苦しんでおります。次に福祉、弱者対策です。コロナで生活に困っている方々にしっかり手を差し伸べたい。もう一つは暮らしです。市民の暮らしをしっかりと支えたい。今回の16ヶ月予算も、この三つをベースに、一層拡充しようと考えて編成しております。
- 今回の国の交付金は当市の見込みよりも少なかった。県への割振りがあったことによるものですが、これは非効率だと思っています。コロナ対策の現場は市町村なので、県が入ることによって非効率になると思います。とりわけ観光などがそうです。当市は独自にやっていますが、県は「つなぐ、にいがた。」などをやっています。それも自分たちではなく、旅行エ

エージェントに委託しています。その人たちも新潟県を熟知しているわけではないので、またその下請けに出すようなことがある。二重構造となってしまう。飲食関係では、コロナ対策を行っているお店に対する認証制度を新発田市独自でやっています。県もやっていますが、これも県の職員ではなくエージェントに委託しています。エージェントが新発田の新道、掛蔵をよく知らないで、結局また下請けに出さざるを得ない。私どもは、市の職員が巡回して確認しています。こういうことを全部市町村に落としていただければ、一回で済みますし、ダイレクトにできます。

○思っていたよりも少ない予算の中でも、三つのキーワードをベースとして補正予算を作っております。これまでと変わった点では、産業振興の中に水稲、施設園芸農家の皆様が、コロナの影響もあるのですが、燃油高騰に困っています。去年の暮れには福祉の視点で、生活にお困りの皆様への灯油購入支援を行いました。今回は生産農家の支援ということで、今後、臨時議会の開催も含め、予算化を検討しているところです。

○ニュース等によると、国はアベノマスクの処理に困っているとのことですので、私は早速手を挙げ、国へその旨を伝えました。当市のまちづくりの柱の中に、「食の循環によるまちづくり」がありますが、この理念が「もったいない」です。当時の安倍総理が政治決断をして調達した。結果としてはあのような状況になっていますが、余っているのであればもったいない。コロナ対策として使うことは考えていませんが、災害での備蓄にも使えるだろうし、料理教室などの衛生管理としても使えると思います。また、ガーゼとしての利用もできます。他にも、市民からの要望があれば使っていただきので、手を挙げたところです。

○今年一年、大いに皆さんに新発田市の PR をしていただき、私も精一杯その任を果たしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、新潟ふるさと CM 大賞で準グランプリの受賞についてです。

○このお正月、2日にU Xでテレビ放映されましたが、県内30市町村のふるさとのPR映像を競う、『第2回新潟ふるさとCM大賞』におきまして、新発田市が準グランプリを受賞いたしました。

○まずは、その受賞したCMをご覧いただきたいと思います。

○いかがでしたでしょうか。この映像は、当市出身で、現在、首都圏で生活されている方たちの集まりである、「しばたサポーターズクラブ」の皆さんが中心となって作成したものです。

○また、映像の編集は当市の高校生が行っております。高校生や当市出身の若い力と、ふるさとへの想いが結実したものであり、令和4年のスタートとして、大変嬉しい受賞となりました。

○もちろんこの受賞で終わりではありません。映像は、ユーチューブなどでの公開をはじめ、新潟県のアンテナショップ「表参道・新潟館ネスパス」や、移住定住イベント、企業誘致など、当市のシティプロモーションに積極的に活用してまいります。

○そして、「ふるさとしばた」のために力を尽くしてくれる若い方たちの力は、新発田の未来への宝物です。人口減少対策、移住定住、新発田のこころ継承プロジェクトなど、各種の市の取組によって、この宝を大切に育て、キラキラと輝くまちを創っていきたいなど、思いを新たにしているところです。

次に、第18回城下町しばた雑煮合戦の開催と、スカイランタンの打上げについてです。

○新発田商工会議所青年部が主催しております、冬の風物詩としてお馴染みの「城下町新発田雑煮合戦」ですが、昨年は大雪のために中止となっております、2年振りの開催となります。

○本来であれば、「我こそは」という出店希望者を全国から募るところですが、新型コロナウイルス感染症対策ということで、市内限定の出店者、そ

して、事前申込によるチケット入場、ドライブスルー形式によるお持ち帰りでの提供となります。

- おかげさまでチケットは全て売切れということです。温かい雑煮で寒い冬を乗り切りたいと、楽しみにしている皆様の願いが叶うよう、当日の好天を私も願っております。
- また、今回は、商工会議所青年部の創立 40 周年ということで、スカイランタンを打ち上げるそうです。
- もとは、中国やタイのお祭りで打ち上げられている熱気球の一種だそうですが、ディズニー映画で描かれたことで有名になり、各地でイベントが行われているようです。
- ユーチューブでのライブ配信とのことですので、暖かいお部屋で、令和 4 年を明るく照らす希望の光が舞い上がる、幻想的な様子をご覧くださいと思います。

次に、災害図上訓練^{ディグ}DIG(風水害版)の実施についてです。

- DIGは、災害(Disaster)、想像力(Imagination)、ゲーム(Game)の頭文字であり、住民自らが、地図を使って防災対策を検討するものです。当市では初の取組みとなります。
- 従来の図上訓練では、それぞれの役割に応じて、マニュアルなどに沿った動きを確認しておりますが、^{ディグ}DIGでは、まず自分の住んでいる地域を、改めて見つめなおすことから始めます。
- 「どんな被害が予想されているのか?」、「危険な場所や注意が必要な施設はどこにあるのか?」、「何かあった時にお世話になる場所や施設はどこか?」、「近所に手助けが必要な人はいないか?」、「いざとなったら頼りになる人はどこにいるのか?」などを、地図に落とし込むことで、自分たち

のまちを再度確認します。

○それは、自分たちで手作りの防災マップを作ることになります。また、手作りのハザードマップを作ること、お役立ち人物マップを作ること、災害時要援護者マップを作ることにもなります。

○当市でも毎年のように大雨が降り、内水氾濫などが発生しております。各地域にお住いの皆さんが自ら考え、課題を洗い出すことで、実効力のある訓練にしたいと考えております。

次に、学校給食への新発田牛^{うし}提供についてです。

○皆様に大変好評をいただいております新発田牛ですが、ついに、小・中学校の給食にも登場いたします。

○1月24日からの1週間は、学校給食の役割や意義を周知し、皆さんに考えてもらうことを目的とする全国学校給食週間となっております。

○この期間に、「ふるさと新潟の味めぐりランチ」として、新発田牛を食材とした牛丼を提供いたします。子どもたちに新発田牛についての理解を深めてもらい、命あるものを大切に作る心、生産者等への感謝の気持ちを育みたいと思っております。

○また、新発田牛の他にも、新発田市産食材をふんだんに利用した、県内の郷土料理の提供も予定しております。児童生徒を通じ、また、給食だより等により、これらの食材や料理が家庭内での会話となり、新発田市の食育の推進につなげたいと考えているところです。

最後に、蔵春閣移築事業説明会の開催についてです。

○令和2年10月に着工いたしました蔵春閣ですが、4月末の移築完了に向け、予定どおり順調に進んでおります。

○ここで、着工からこれまでの工事の様子をご紹介します、皆様に蔵春閣への理解を深めていただきたいと考え、説明会を開催いたします。現場はまだ足場が組まれており、全容を見ることができませんが、説明会では記録映像として、一足先に内部をご紹介します。

○また、今後の利活用についてのご意見もこの機会に伺いたいと考えておりますので、内部の映像を見たい方や、利活用のアイデアをお持ちの方は是非お出でいただきたいと思っております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。